

令和4年度 指定管理者制度導入施設の管理運営状況について

文化芸術課

1 施設の概要等

施設名	広島県立文化芸術ホール（上野学園ホール）		
所在地	広島市中区白島北町 19-1		
設置目的	県民の文化芸術を鑑賞する機会を提供し、文化芸術の振興を図る。		
施設・設備	ホール（1,730席）、リハーサル室（3室）、スタジオ・オーディオルーム、録画編集室（2室）、音楽室（2室）、会議室（5室）、レストラン		
指定管理者	5期目	R3.4.1～R8.3.31	RCCホールマネジメントグループ
	4期目	H28.4.1～R3.3.31	RCCホールマネジメントグループ
	3期目	H23.4.1～H28.3.31	RCCホールマネジメントグループ
	2期目	H20.4.1～H23.3.31	共立・合人社共同事業体
	1期目	H19.4.1～H20.3.31	（財）ゆうちょ財団

2 施設利用状況

利用状況	年度	目標値 [事業計画]	入場者数	対前年度増減	対目標値増減 (達成率)	
	5期	R4	330,000人	259,962人	144,006人	△70,038人
R3		245,000人	115,956人	△97,455人	△129,044人	(47.3%)
4期平均	H28～R2	224,964人	213,411人	△15,754人	△11,553人	(94.9%)
3期平均	H23～H27	258,000人	229,165人	△31,541人	△28,835人	(88.8%)
2期平均	H20～H22	320,000人	260,706人	23,244人	△59,294人	(81.5%)
1期	H19	320,000人	237,462人	—	△82,538人	(74.2%)
増減理由	令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により入場者数が特に落ち込んだが、令和4年度は、施設利用の制限がなくなったことや劇団四季ロングラン公演の実施等により、前年度から約14万人増加するなど回復傾向にある。					

3 利用者ニーズの把握と対応

調査実施内容	【実施方法】	【対象】
	利用者アンケート（紙又はオンライン）	利用者（主催者）
	【主な意見】	【その対応状況】
	トイレを洋式化及び洗浄便座化してほしい。 駐車場を使用したい。	洋式化及び洗浄便座化に令和4年度から着手し、全てのトイレについて、令和5年度に改修完了予定。 施設には駐車場がないため、近隣の駐車場案内をホームページに掲載している。

4 県の業務点検等の状況

項目	実績	備考
報告書	年度	○ 事業報告書
	月報	○ 月次業務報告書
	日報（必要随時）	—
現地調査及び管理運営会議 （随時実施）	<p>【特記事項等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 平日の利用増加に向けた取組 新型コロナウイルス感染防止対策の徹底と燃料高騰への対応 老朽化した設備の適切な保守点検等 <p>【指定管理者の意見】</p> <p>高校生が利用する際の利用料減免等利用促進策を実施するとともに、老朽化したソファの更新等、不調機器や老朽化した備品の更新を行った。</p> <p>【県の対応】</p> <p>燃料高騰による影響額を負担するなど、指定管理者への支援を行った。</p>	

5 県委託料の状況

(単位：千円)

県委託料 (決算額)	年度		金額	対前年度増減	料金 収入 (決算額)	年度		金額	対前年度増減
	5期	R4	22,911	△29,502		5期	R4	149,871	75,333
		R3	52,413	33,942			R3	74,538	△10,215
	4期平均	H28～R2	18,471※	18,471		4期平均	H28～R2	84,753	△30,222
	3期平均	H23～H27	—	—		3期平均	H23～H27	114,975	△5,370
	2期平均	H20～H22	—	△26,704		2期平均	H20～H22	120,345	20,004
	1期	H19	26,704	—		1期	H19	100,341	—

※令和2年度に措置した新型コロナウイルス感染症の影響に伴う委託料額を期中5か年で割った金額を記載

6 管理経費の状況

(単位：千円)

項目		R4 決算額	R3 決算額	前年度差	主な増減理由等	
委託事業	収入	県委託料	22,911	52,413	△29,502	燃料高騰による増：8,076千円 新型コロナウイルス感染症に係る委託料の減：△37,578千円
		料金収入(※1)	149,871	74,538	75,333	ホール等の利用者の増
		その他収入	36,112	18,071	18,041	レストラン等の利用者の増
		計(A)	208,894	145,022	63,872	
	支出	人件費	31,431	29,337	2,094	ホール等の利用者の増
		光熱水費	47,004	26,397	20,607	ホール等の利用者の増、燃料高騰による増
		設備等保守点検費	26,025	25,569	456	
		清掃・警備費等	27,712	28,389	△677	
		施設維持修繕費	31,861	15,681	16,180	経年劣化による館内修繕箇所が増
		事務局費	26,736	17,733	9,003	ホール等の利用者の増
		その他	20,827	10,188	10,639	レストラン等の利用者の増
	計(B)	211,596	153,294	58,302		
	収支①(A-B)		△2,702	△8,272	5,570	
	自主事業 (※2)	収入(C)	28,469	12,138	16,331	自主事業の増
支出(D)		13,916	7,790	6,126		
収支②(C-D)		14,553	4,348	10,205		
合計収支(①+②)		11,851	△3,924	15,775		

※1 利用料金制：公の施設の使用料について、指定管理者が直接使用料等を収入することができる制度。指定管理者の自主的な経営努力を発揮しやすくする効果が期待され、地方公共団体及び指定管理者の会計事務の効率化が図られる。

※2 自主事業：指定管理者が自らの責任で、更なる施設サービスの向上のために提案・実施する事業

7 管理運営状況

項目		指定管理者 (事業計画、主な取組、新たな取組など)	県の評価
施設の効用発揮	○施設の設置目的に沿った業務実績	こどもの日フェスタ（5月）や開館50年感謝祭（11月）のほか、開館50年の歴史を振り返る動画の作成及び公開を行い、ホールの魅力の発信に努めた。	周年を活かした事業を展開し、施設の魅力発信に努めた。
	○業務の実施による、県民サービスの向上	スッキリ体操・カルチャースクール・子供向けイベント・産直市等を継続して実施し、施設利用促進に努めた。	カルチャースクールなど指定管理者の強みを活かした利用促進事業を展開し、利用率の向上に努めている。
	○業務の実施による、施設の利用促進	地下レストランにWi-Fi環境を整備するなど、レストラン業者と連携しながらサービスの向上に努めたほか、来場者ニーズに合わせ、「おむつ替えコーナー」をホールロビー内に新設した。	利用者のニーズを的確に汲み取り、サービスの向上に取り組んでいる。
	○施設の維持管理	冷温水管の取替など、老朽化した設備の保守修繕を多岐にわたり実施した。	必要な工事や修繕・部品交換について適時適切に対応している。
管理の人的物的基礎	○組織体制の見直し	指定管理者構成企業の特性を生かし、利用促進に向けて、SNS・ラジオ等を使用した広報活動を展開した。	指定管理者構成企業が、それぞれの特性を生かし、一体的な組織体制で施設の利用促進に努めた。
	○効率的な業務運営	燃料が高騰する中でも収支の適正化に努めながら、老朽化設備の更新等を計画的に実施した。	燃料高騰の影響下においても、収支の改善に向け適切に対応している。
	○収支の適正		
総括		劇団四季のロングラン公演の実施や開館50年自主事業イベントの開催など、利用者数の回復に向け、施設の利用促進に努めた。また、老朽化した県備品等の更新や設備保守・改修工事等を実施した。	新型コロナウイルス感染症及び燃料高騰の影響下においても、感染防止・節電対策を図りつつ、利用促進に取り組んでいる。

8 今後の方向性（課題と対応）

項目	指定管理者	県
短期的な対応 (令和5年度)	自主事業イベントの開催や学校関係者への働きかけ・独自減免等を行い、引き続き平日の施設利用促進及び収支の適正化に取り組む。	燃料の高騰については引き続き必要な支援を行うとともに、今後も指定管理者と随時情報を共有し、施設の利用促進に繋がるような事業の検討を行う。
中期的な対応	利用者意見を反映するなど、引き続き、より利用しやすい施設運営を実施し、利用者増による安定収入の確保及び収支の改善に取り組む。	指定管理者と連携して施設利用の更なる増加に取り組む。